

知って
おきたい

暮らしとお金のいろは

第15回

Q 先日、子どもが生まれました。60歳になる両親も初孫に喜んでいますが。両親から学資保険に加入した方が良いと言われました。私の時に加入していて助かったようです。選ぶポイントを教えてください。

(30代 女性)

A 一般的に、学資保険は「貯蓄と保障」を併せ持っています。ただし、商品によって貯蓄と保障のバランスは違いますので、お子さんの教育プランに合った商品を選ぶことが重要です。

選ぶポイントは、大きく分けて3つです。

①**保障重視型**：契約者(父母・祖父母)が死亡したときや子どもの入院保障付きなど、もしもの際に備える保障です。既に加入している生命保険(死亡時)と保障が重複していないか?子どもの入院保障が本当に必要か?などの確認が必要です。

②**貯蓄重視型**：子どもの入院保障などはありませんが、貯蓄率が高いため、教育資金を準備できます。満期の時期をいつにするかによって商品は変わります。

「子どもが生まれたら学資保険」は、相談者の両親世代にとっては当然なことかもしれません。大切なのは「出産⇒学資保険」ではなく、将来的なライフプランを前提に教育資金を準備する事です。「子どもの生年月日によっては、満期保険金受取り時期が入学のタイミングと合わない」「世帯主が死亡した場合に、生活費がないため学資保険を解約してしまう」などの事態が起きないように、まずは身近なファイナンシャルプランナーに相談することをお勧めします。

学資保険は元本割れすることも



3つのポイント

- ・学資保険は元本割れもある
- ・医療保障や契約者死亡対策は別途必要
- ・一括払いで保険料割引の活用

2014年12月現在の税制・税率に基づき作成しています。税制・税率は将来変更される場合がありますので、ご注意ください。また、個別の税務に関する取扱いには、税理士または所轄の税務署に確認してください。

協力募集代理店(株)ファミリーライフクラモチ 大森 健一さん

独立系FP事務所(株)ファミリーライフクラモチ所属。AFP・宅宅

ローンアドバイザーの資格を活用し、セミナー講師・個別相談等を実施。

募集代理店(株)ファミリーライフクラモチ 土浦市永国097の1 ☎0120・1266665

